

臨床福祉専門学校
理学療法学科（昼間部）平成 29 年度 第一回教育課程編成委員会 議事録

日時：平成 29 年 7 月 19 日（水） 19：00～20：00

場所：臨床福祉専門学校 3F 会議室

出席委員及び所属

中村 岳雪（東京都理学療法士協会 理事）

下河辺 雅也（山田記念病院 技師長）

石垣 栄司（臨床福祉専門学校 理学療法学科統括学科長）

吉葉 則和（臨床福祉専門学校 理学療法学科学科長）

樋口 豊朗（臨床福祉専門学校 教務課 主任）

欠席：水落 太郎（松井病院 リハビリテーション科主任）

1. 平成 28 年度本委員会での振り返り

石垣：平成 28 年度の本委員会では、主に昼間部の学生に傾向がある「コミュニケーション能力」の欠落は、将来的な臨床実習や卒業後の就職を想定すると危惧すべき中身であるという意見を委員から頂いていた。これに対する打ち手として、今後の初年次教育の中身を踏まえて、引き続き学内で検討中。

下河辺：新卒の P T が入職し、半年程度経過した今現在の状態を観ていても、特に個別指導が苦手な印象を受ける。

中村：P T の専門的な知識の修得の良し悪しもあるが、そもそもの通常のコミュニケーション能力の欠落が原因。養成施設で教育していく過程の中で、打ち手を検討すべき

→平成 28 年より継続審議となったこの案件は、初年次教育や入学前の学習会で何か打ち手がないか学内でも検討する。

2. 敬心学園の将来的な改編計画について（報告）

石垣：平成 31 年 4 月開校を目標に、敬心学園が専門職大学を設立する予定である。専門職大学はこの臨床福祉専門学校の校舎を使用する事から、臨床福祉専門学校としては平成 30 年度の入学生を最後に募集を停止する事となる。専門学校自体は臨床福祉専門学校と高田馬場にある姉妹校 2 校と合併して、新たな専門学校として設立することとなる。

しかし、現在校生や平成 30 年度入学生に対しては、卒業するまでは、本校舎を使用し、臨床福祉専門学校の学生として養成していく事となる。

教育課程編成委員会の立ち位置としては、臨床福祉専門学校は職業実践専門課程に認可されている以上、継続して続けていくが、上記の改編計画の兼ね合いでどのようになるか現在は不明。

3. 平成 29 年度の本委員会の取り組み

吉葉：今までは下位の学年における実習後の他業種との触れ合い、早期の現場見学等、本委員会で議論された取り組みを行ってきた。視点を変え、「最終学年を対象に卒業して P T として就職する前に学ぶべき事・準備するべき事」として何か取り組めないか

中村：例えばベッド上の良肢位保持ひとつでも看護師とは異なる P T の知識を活かしたやり方がある。それによって患者の満足度も異なる。P T の専門性を活かすという点では良いと思う。

石垣：最終学年を対象とした「現場に出る前に P T の専門性を高める為の取り組み」を平成 29 年度の教育課程編成委員会のテーマとし、2 回目の会議で具体的な取り組み内容（方法）を審議する事とする。